

昭和十六年十月二十二日

日本語教育振興會理事長 松尾長造

理事兼主事 長沼直 殿

拜啓 左記ノ通り第四回常任理事會開催可申候間御多用中乍恐縮
御出席願上候 敬具

記

日本語教育振興會第四回常任理事會

昭和十六年十月二十五日（土）午前十一時
於文部省第二會議室

一、議 題

研究部事業ノ企畫並遂行ニ關スル件

指導部事業ノ企畫ニ關スル件

教科用圖書ノ頒布方法ニ關スル件

雜誌「日本語」ノ發行ニ關スル件

普及部事業ノ企畫ニ關スル件

二、配布書類

イ、研究部事業企畫

ロ、指導部事業企畫

日本語教育振興會

第四回常任理事會協議要項

十月二十五日(土) 自午前十一時二十分至午後二時
於文部省第二會議室

出席者

- 松尾理事長
- 榊谷常任理事 關野常任理事 大志万理事 平松書記
- 大岡常任理事 釘本常任理事
- 西尾理事兼總主事 長沼理事兼主事

一、配布書類

- (一) 日本語教育振興會資料作成案
- (二) 指導部事業遂行ニ關スル件
- (三) 日本語讀本卷一配布先及部數
- (四) 日本語教育振興會普及部事業計畫(案)

一、協議要項

(一) 研究部事業ノ企畫並遂行ニ關スル件

「日本語教育振興會資料作成案」ニツキ長沼理事兼主事ヨリ詳細説明アリ。逐條審議ノ上、出席ノ各理事何レモ此ノ企畫ノ重要ナル意義ヲ確認シ、本立案ノ方針ニ據ツテ事業ヲ進捗スルコトトス。但助成金ニ關シテハ興重院ノ都合上、出版費・事務費・人件費以外ノ流用支出及研究費ノ支出ニツキテハ一應興重院ノ承認ヲ得ル手續ノ必要アリ、助成金下附セラレテ後ハ本會ニ於テ右ノ手續ヲ適當ニトルコトトセリ。

尙、此ノ事業ノ成果ハナルベク三月末迄ニ刊行ヲ了スルヤウ努力スルコトヲ申合セタリ。

(二) 指導部事業ノ企畫ニ關スル件

「指導部事業遂行ニ關スル件」ニツキ大志万理事ヨリ詳細説明アリ、逐條審議決定。

1 本會及ビ財團法人青年文化協會及財團法人日語文化協會トノ共同主催ニヨル短期講習會ニツキテハ取急ギ準備ニ着手スルコト

トス。

2 本會獨自ノ企畫ニ依リ、本會單獨主催ノ講習會終了者ニ對シテハ何等カノ特典ヲ附與シタキコト、

3 本會主催ノモノト他團體トノ共同主催ノモノトヲ間ハズ講習終了者トノ聯絡ニツキテハ、機關誌「日本語」ヲ中心トスル會員組織ノ方法ヲモ考慮スルコト、
等ノ意見アリ。

(三) 教科用圖書ノ頒布方法ニ關スル件

「日本語讀本卷一配布先及部數」ニツキ關野常任理事ヨリ内示アリ。

(四) 雜誌「日本語」ノ發行ニ關スル件

1 釘本常任理事ヨリ發行日ヲ嚴守スベキ狀況トナリ、且印刷所ノ編輯等ノタメ雜誌「日本語」十一月號休刊ノ止ムヲ得ザル旨説明アリ、右休刊ト決定。

2 尙、新年號ヨリハ、主ナル處ヘハ寄贈トスルモ、他ハ有料トスルガ至當ナリ等ノ意見アリ。配布ノ方法ニ關シテハ次回ニ於テ協議スルコトトス。

3 安藤顧問ヲ招待シ座談會開催ノ計畫アル旨ヲ報告シ賛成ヲ得タリ。

(五) 普及部事業ノ企畫ニ關スル件

「日本語教育振興會普及部事業計畫(案)」ニツキ西尾理事兼總主事ヨリ詳細説明アリ、逐條審議決定。
尙、定價ヲ廉クスルコト、又本年度ハ一種類ヲ多量ニ刊行スルヨリモ寧ろ各種ニ亘ツテ種々刊行スルヲ可トスル等ノ意見アリ。

閉會後、引續キ文部省國語課長室ニ於テ、與谷常任理事・關野常任理事・大志万理事、大岡常任理事・釘本常任理事、西尾理事兼總主事・長沼理事兼主事、左ノ諸件ニツキ協議ス。(自午後二時四十分至同四時十分)

(一) 大都會會開催ニ關スル件

1 目的 本會創設ノ趣旨舉辦宣傳ヲ主眼トス。

2 場所 十一月下旬東京ニ於テ開催ノコト。

3 講師 藤田會長・及川總務長官心得・長谷川如是閑・佐藤春夫諸氏ノ講演。

4 其ノ他 映畫・支那事情紹介映畫及適當ナル劇映畫。

(二) 短期講習會開催ニ關スル件

1 目的、2 會場及會期、3 講師者等ニツキテハ「指導部事業遂行

ニ關スル件」中ニ舉ゲラレタル通ナレドモ、主催ニ關シテハ飽ク

マデモ本會ガ主體性ヲ保チ本會トシテ企畫案ヲ持ツテ青文協、日

文協ト接衝ノ上適當ニ之ヲ具體化スルコトトセリ。

2 講師及題目ニ關スル決定。

(一) 題目

(東京)

(京都)

(福岡)

東亞新秩序ト文教

松村 恭

松尾長造

松尾長造

東亞ニ於ケル日本語

大岡保三

大岡保三

關野風夫

國語教育ト日本語教育

西尾 清

劍本久春

高木市之助

日本語教授法

松宮 洋平

長沼直兄

藤野政市

日本語標準語法

湯澤 幸吉郎

吉澤義剛

佐久間 鼎

東亞事情

東亞院側

同上

同上

日本大興業同盟ニ入會スルコト。

以上